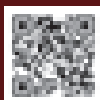




彦根東高校は令和8年に
創立150周年を迎えます



「動画で見る
彦根東高校」へ



PLIJ彦根東
コンテンツへ



滋賀県立
彦根東高等学校
SCHOOL GUIDEBOOK
2026



Introduction

赤鬼魂

先駆者精神「赤鬼魂」

彦根東高は、彦根藩に由来する赤鬼魂を継承しています。これには、先駆者精神、先頭に立って活躍する、時代に先立って新しい道を切り拓く、何事にも屈しないチャレンジ精神という意味があります。

彦根東高スクールミッション (滋賀県教育委員会策定)

- 1 未来を拓く心豊かでたくましい人くりのため、生徒の**自立**する力・伝える力・**協働**する力・**創造**する力等の生きる力を育成する学校
- 2 開校以来の先駆者精神を尊び、予測困難な時代においても確かな行動力で未来を切り拓く人材を育成する学校
- 3 県内各地の多様な生徒が集い、創造性を育む探究的な学習等により世界で活躍できる人材を育成する学校



土曜講座「稽古館」 (名前は江戸時代の彦根藩校に由来)

彦根東高の教職員や外部講師による土曜開講のスペシャル講座。教科横断的な学習やフィールドワークなどの多彩な内容で楽しく学びます。



ブラ地理



動物介在教育を考えるプロジェクト



数学オリンピック

学びの特色

あまね きわ
求めよ普く 究めよ深く

- 彦根東高の校歌（作曲：古関裕而 作詞：吉田精一 昭和27年制定）の2番に「求めよ普く 究めよ深く 輝け叡智よ 湖上の月と」という一節があります。彦根東高では、幅広い教養を身に付け、常に探究心をもって自ら学びに楽しく向かう力を養います。

滋賀県各地から彦根東高に集まり大きく成長する生徒たち

- 彦根東高は明治9年に開校しまもなく創立150年を迎えます。決して、歴史と伝統に胡坐をかきことなく、その時代その時代の生徒と教職員が力をあわせて学校を創り上げています。
- 地元の彦根市、米原市はもとより、北は長浜市から南は大津市まで県全域から入学します。文武両道を目指し、皆がお互いを尊重し3年間の高校生活を通して大きく成長します。

令和7年度出身中学校市町別人数（人）

彦根市	約260
長浜市	160
東近江市	100
近江八幡市	100
米原市	60
蒲生・愛知・犬上郡	50
大津・草津・守山・栗東・野洲市	180
他市・国立・県立・私立等	50



特色ある教育課程

- 50分×7限授業で授業時間を確保
- 2年生から文系・理系コース分け
- 総合的な探究の時間の「課題研究」で探究力・チャレンジ力を養成
- 自習専用室の設置、土曜日の教室開放により自主学習を支援
- 高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）の指定（令和6年～）をはじめ、SSH（スーパーサイエンススクール）指定（平成18年～令和3年）や文部科学省のWWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業の拠点校指定（令和4年～6年）をもとに、世界で活躍できるグローバルリーダーの育成を目指しています
- 大学の授業を受講し単位を取得する「先取り履修」など県内外の大学との高大連携を推進
- 土曜講座、夏期講座、総合教養講座、人権教育講座などの特別講座開講

令和8年度入学生 教育課程（予定）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1 年 生		国語 (5)				地理歴史 (2)		公民 (2)		数学 (6)						理科 (4)			体育 (2)		保健 (1)	英語 (6)						家庭 (2)		情報 (1)	LHR (1)	総合探究 (1)			
	GS	国語 (5)				地理歴史 (2)		公民 (1.5)		数学 (6)						理科 (4)			体育 (2)		保健 (1)	英語 (6)						家庭 (1.5)		情報 (1)	Advanced Research (2)		Integrate (1)	LHR (1)	
2 年 生	文系	国語 (6)				地理歴史 (6)						数学 (5)					理科 (2)		体育 (2)		保健 (1)	英語 (6)						芸術 (2)		情報 (1)	LHR (1)	総合探究 (1)			
	理系	国語 (4)		地理歴史 (2)		数学 (7)						理科 (6)					体育 (2)		保健 (1)	英語 (6)						芸術 (2)		情報 (1)	LHR (1)	総合探究 (1)					
	GS	国語 (4～6)			地理歴史 (2～4)			数学 (7)						理科 (4～6)			体育 (2)		英語 (6)						芸術 (2)		Advanced Research II (2)		Integrate II (1)	LHR (1)					
3 年 生	文系	国語 (7)					地理歴史・公民・情報 (8)								数学 (3)		理科 (4)		体育 (3)			英語 (6)						LHR (1)	総合探究 (1)						
	理系	国語 (4)		地理歴史・公民・情報 (4)				数学 (6)				理科 (8)						体育 (3)			英語 (6)						LHR (1)	総合探究 (1)							
	GS	国語 (4～6)			地理歴史・公民・情報 (4～8)						数学 (3～6)			理科 (4～8)				体育 (3)		英語 (6～7)						AR III (1)	LHR (1)								

※文部科学省から「教育課程特例校」の指定を受け、特別な教育課程を編成しています。

※（ ）内の数字は、週あたりの授業時間数を表しています。1年GSコースの「公民」「家庭」は、2時間の週と1時間の週が交互にあります。



高い志と自主自律の精神で進路を切り拓く

彦根東高の大部分の生徒は、卒業後大学に進学します。そして将来、大学で研究者になる人、医者になる人、企業で活躍する人、様々な生き方があります。学校の先生になる人もたくさんいます。大学への進学は決してゴールではなく通過点です。東京大学や滋賀医大に合格、これは単なる実績です。その先、どういう人間になるか、どう生きるか、生きていく強さを彦根東高の3年間で身につけてほしいと考えています。



総合教養講座

総合教養講座

彦根東高のOB・OGは県内外で活躍しています。起業家、経営者、大学教授、医者、シェフなど様々な卒業生を講師に招き、生徒と意見交流をしています。生徒は、講師の働き方や生き方を目の当たりにし、自分自身が本当に目指したい進路を真剣に考える貴重な機会になります。

難関大集会

東京大学、京都大学、滋賀医科大学などの在学生を招いて、最新の学術情報や受験勉強方法について、先輩から後輩に直接伝授されます。大学入試本番のエピソードや大学生活の様子なども語られます。参加した生徒からも勉強法やリフレッシュ方法など多くの質問が投げかけられ、毎年大盛況です。

医学部志望者向け講座・ 高校生版教師塾

医療系志望者(医学・歯学・薬学・看護学・理学療法学・作業療法学など)を対象に、ガイダンスや面接指導、集団討論対策などを3年間継続して行います。高校生版教師塾では、彦根東高OB・OGの小中高の現役教員を招き、教員志望の生徒に教職の魅力を伝える取組も実施しています。



難関大集会



医学部進学希望者向けの
面接練習

新入生
オリエンテーション

大学入試の過去問や
資料が充実





田原 総一郎 さん

—【主な経歴】—

彦根東高校-早稲田大学-岩波映画製作所-テレビ東京
ジャーナリスト（テレビ出演・著書多数）

彦根東高校は、旧制時代は彦根中学で、小学校のときから彦根中学に入って野球部に所属し、甲子園大会に出場するのが夢でした。当時は進学校がほかにはありませんでしたので、彦根東高校に進むことにしました。

高校時代、先生に「高校は大学受験のための詰め込みばかりでつまらない。そもそも、なぜ大学に行かないといけいないのか、なぜ就職しないといけいないのか、人生とはどういうことなのか、生きるとはどういうことなのか」と尋ねると、先生が面白がって若い哲学者を紹介してくれたり、わざわざ泊まりがけで先生も一緒にお寺に訪問して、科学技術が発達してもなぜ宗教が持続するのか、なぜ人間は宗教を求めるのか、という説明をお坊さんと先生からわかりやすく受けたりして、とても素晴らしい青春時代でした。

これからの時代を築いていくみなさんには、同調圧力に負けず、自分の頭で考え、自分の言葉で発言する人間になってほしいと願っています。

なお、私は野球部には所属しましたが、正選手にはなれず、私たちの代には甲子園出場も叶いませんでした。



図書室の田原総一郎文庫



廊下学習



有馬 純 さん

—【主な経歴】—

彦根東高校-東京大学-通商産業省（現経済産業省）
OECD（経済協力開発機構）日本政府代表部参事官
IEA（国際エネルギー機関）国別審査課長
資源エネルギー庁国際課長、同参事官
大臣官房審議官地球環境問題担当
JETRO（日本貿易振興機構）ロンドン事務所長
東京大学院特任教授 エネルギー環境政策

私は1978年に彦根東高校を卒業しました。父の転勤により中学から高校の5年間を彦根で過ごしたのですが、彦根東高校の3年間は私にとってかけがえのない思い出です。今でも年に一度は彦根を訪れ、中高時代の友人と旧交を温めています。

東高校でまず思い出すのはチャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番冒頭を使った始業チャイムです。入学試験のときにあの勇壮なメロディが流れてきた時は驚いたものです。東高校の校風の特徴は自由と大らかさでしょう。県内有数の進学校ですから勉強が重視されることはもちろんですが、部活動を含め、勉強以外の分野で自分の興味関心を見つけることも奨励されていました。文化祭、体育大会などの学校行事も盛んで、私は生徒会本部で夜遅くまで準備に精を出していました。1、2、3年の同じクラスナンバーを束ねて「団」をつくり、団対抗で学校行事を行うのは東高校独特の伝統です。大人びた3年生の先輩方と共に、おそろいの団カラーの法被に身を包んで応援合戦に参加し、様々な大学の校歌や旧制高校の寮歌を高吟したのは良い思い出です。この校風・伝統は今でも変わらないそうで、嬉しい限りです。

春夏秋冬、美しく姿を変える城山を朝な夕なに眺めながら、藩校以来の長い歴史を誇る東高校に通ったことは、私の人間形成に確かな影響を与えています。彦根東高校の門をくぐった皆さんが、それぞれに素晴らしい3年間を過ごされることを確信しています。



教員が希望進路実現を全力サポート



玄武園から望む彦根城

過去5年間の合格者数

大 学 名	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
北海道大	1	1	2	1	4
東 北 大	0	0	0	1	0
筑 波 大	0	2	1	1	1
東 京 大	1	0	0	2	1
金 沢 大	12	15	4	12	10
名古屋大	2	5	3	10	11
滋 賀 大	7	14	19	14	9
滋賀医大	6	7	5	9	7
滋賀県立大	4	15	10	14	18
京 都 大	5	8	12	8	12
京都工繊大	5	7	5	9	5
京都府立大	1	3	4	5	2
大 阪 大	17	13	17	10	13
大阪公立大	7	20	16	7	11*

大 学 名	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
神 戸 大	9	14	13	14	10
岡 山 大	2	3	0	2	4
広 島 大	6	10	8	11	4
九 州 大	3	5	1	2	0
慶 応 大	4	3	5	3	5
早 稲 田 大	3	4	7	1	8
同志社大	75	103	82	88	63
立 命 館 大	208	314	195	240	207
関 西 大	14	21	22	27	26
関西学院大	13	29	14	14	15
国公立大合計	181	221	186	197	187
(内 医学部医学科)	6	5	5	9	8
私立大合計	819	953	832	920	812

*大阪市立大と大阪府立大の合計人数です

夢中になれる場所 彦根東高



彦根東高最大のイベント 学園祭「東鬼祭」

- 1年から3年までの縦割りの「団活動」で優勝を目指します。さらに文化部発表や有志発表など、生徒会執行部による楽しい企画運営により、生徒が伸び伸びと創意工夫をこらして取り組みます。
- 彦根東高では東鬼祭のある一週間は授業を一切行いません。東鬼祭は、準備期間も含めて生徒が成長する場面が随所にあり、学校として授業をせずに生徒の自立する力、協働する力、創造する力を身につけることを最優先しています。

4月

始業式、入学式
対面式
実力考査(3年)
宿泊オリエンテーション
(1年)

5月

中学校教員対象説明会
PTA総会
1学期中間考査
春季高校総体・高文祭

6月

春季高校総体・高文祭
東鬼祭(文化祭・体育祭)
難関大集会(3年)
校外模試(3年)

7月

1学期期末考査
校外模試(1・2・3年)
終業式
夏期講座(3年)
学習合宿(3年)
海外連携校研修(オーストラリア)

8月

全国高校総体
全国高校総合文化祭
中学生対象学校説明会
校外模試(2・3年)

9月

始業式
学力考査(1・2年)
実力考査(3年)
海外連携校交流
総合教養講座(2年)



文化の部 2年生による団舞踊



体育の部 学校開催での様子



体育の部 県民共済ドーム長浜での様子



文化の部 1年生による団合唱

赤鬼杯（レクリエーション大会）

写真コンテストや囲碁9路盤トーナメント、早押しクイズ、カルタトーナメント、ディベートなど多彩な種目があり、一人ひとりが個性を生かし、クラス対抗で競い合います。

グローバルな視野を広げる修学旅行

台湾を訪れ、現地の高校生との交流や大学生との市内観光などを通じて多様な価値観や文化に触れます。故宮博物院や忠烈祠の見学、九份老街の散策など、台湾の歴史と伝統への理解を深めるプログラムも充実しています。



台湾への旅行

施設紹介



図書室 県下でも有数の蔵書数



自習室 完全独立46席



赤鬼杯 ディベートの様子



多目的ホール 県内の木材で作られ、高い音響効果が魅力



部室棟



中庭 憩いのスペースになっています

10月

2学期中間考査
校外模試(3年)
人権統一LHR
秋季高校総体・高文祭
実力考査(3年)

11月

秋季高校総体・高文祭
校外模試(1・2・3年)
修学旅行(2年台湾)

12月

2学期期末考査
終業式
生徒会長選挙
赤鬼杯(生徒会イベント)

1月

始業式
大学入学共通テスト
校外模試(1・2年)
人権統一LHR

2月

学力考査(1・2年)
課題研究発表会
県立高校入試

3月

卒業式
学年末考査
球技大会
終業式
高校生国際会議

在校生・卒業生の声



田附 咲良 さん

皆さんはどのような高校生活を送りたいですか？

私は、GSコース、囲碁部、ELC部に所属しています。GSコースでは課題研究だけでなく、企業訪問や海外の生徒との交流など、多くの貴重な経験をすることができ

ました。さらに、自分が興味を持つオーストラリア研修や中国湖南省への書道交流、トビタテ留学にも参加しました。また、日々の東高の授業は容赦ありません。テストと囲碁の大会、プレゼンの締切りなどが重なった時には、「もう無理だ」と投げ出したくなることもありましたが、そんな時、周りを見渡すと、勉強や部活動、課外活動など様々な分野で努力している東高生がいます。忙しさを共有し、刺激し合える仲間が存在は、「やるしかない！」とめげそうになる気持ちを奮立たせ

てくれます。また、些細なことにも耳を傾け見守って下さる先生方もおられます。このような環境は「自分で考え、自分がやりたいことを全力で頑張れる場所」だと思っています。私は入学時、将来の夢は漠然としたものでした。今では明確になりつつあり、新たな目標もできました。皆さんも、東高で思いっきり自分のやりたいことに挑戦してみませんか。



比留間 啓介 さん

素晴らしい仲間達と共に様々なことに全力で取り組める場所。それが彦根東高校です。

私はバレーボール部に所属しています。皆が高い向上心を持ち、自発的・意欲的に活動しています。仲間の競技に対する真剣な姿勢に

刺激を受け、私自身も一層の熱意を持って取り組んでいます。そのため、毎日の練習がすごく楽しく、充実感あるものとなっています。

勉強においても同じことが言えます。多くの生徒が日々、意欲的かつ主体的に学習に取り組んでいます。また、授業では話し合いの場が多く設けられ、生徒同士の教え合いも活発です。仲間と互いに切磋琢磨し、高いモチベーションを維持できます。

入学してから2年間を振り返ると「仲間恵まれ

た」と強く感じます。多様な個性を持ち、何事に対しても熱心に取り組む、そんな仲間たちと過ごす毎日は私にとってかけがえのないものです。

さて、ここまで読んでくれたあなた、彦根東高校に来てみませんか？素晴らしい出会いが待っています。仲間と共に全力で駆け抜ける3年間はきっと素晴らしいものになるでしょう。



福井 陽香 さん

(令和7年3月卒業)
バドミントン部
神戸大学国際人間学部

私は彦根東高校に入学する前、高校生になって知らない人ばかりの新しい環境でうまくやっていけないのか、不安に思っていました。

しかし、彦根東高校には、たくさんの素敵な出会いがありました。私の場合、特にバドミントン部のみんなと出会ったことが、高校生活で一番幸せなことだったと思っています。一人一人、性格や得意なこと、部活への向き合い方や考え方は違っていたのですが、部活を通してたくさんの時間を一緒に過ごしていく中で、いつの間にか部活のみんなが私にとって素の自分であり、仲間になっていました。勉強や進路で落ち込んだ時にも、みんなと過ごす時間が、前向きに一生懸命頑

張ろうと思わせてくれる私の支えになりました。

私にとって彦根東高校は、そんな仲間に出会えた場所です。そして、その仲間がいるからこそ、一人一人がそれぞれの思いをもって、何かに一生懸命になれる場所なのだと思います。いろんな人に出会う中で、新しい自分を見つげられることもあります。きっと、皆さんにも新しい仲間や新しい自分との素敵な出会いが待っていると思います。

青春をかける部活動

彦根東高では、共に高め合える素晴らしい仲間と、青春をかけて部活動に思いっきり打ち込めます。ただただ夢中になれる。彦根東高には、運動部13部、文化部13部と1つのサークルの計27部があります。勉強も部活動も、目の前のことに真摯に向き合い続ける充実感を一緒に味わいましょう。努力する人をみんなでたたえ、みんなが努力する学校です。



運動部

野球 陸上競技 バレーボール(男女)
バスケットボール(男女)
バドミントン(男女)
水泳 ハンドボール 卓球 ボート
ソフトテニス(男女) 剣道 サッカー 弓道

文化部

新聞 GS(物理・化学・生物・地学・数学・
社会科学) ELC(英語)
吹奏楽 茶道 文芸 美術 箏曲 囲碁
将棋 料理 演劇 クイズ
競技かるたサークル

令和6年度の実績

【全国大会出場】

囲碁 ELC GS 新聞 箏曲 文芸 ボート

【近畿大会出場】

囲碁 GS 将棋 新聞 水泳 吹奏楽
スポーツクライミング 卓球 ボート 陸上競技

第90回記念選抜高等学校野球大会



新聞部 福島県での取材



GS社会科学 高校生による【しが】学びの祭典2023 最優秀賞受賞



永原 篤志 さん
(令和7年3月卒業)
野球部
京都大学経済学部

彦根東高校では素晴らしい人たちと出会うことができます。

私が所属していた野球部では部員数が多くレギュラー争いも熾烈でしたが、共に厳しい練習を耐え

抜き切磋琢磨してきた仲間がかけがえのない存在になりました。部活を引退してからも野球部の仲間は特別な存在です。

東高には朝早く、冬場はまだ陽が昇らないうちに登校して勉強する生徒がいて、私もそのひとりでした。早いうちに登校するメンバーは話したこともない人ばかりでしたが、その人たちの頑張りをしていると、起きるのがつらい時でも力をもらうことができました。

他にも、受験期には友人と同じ場所で勉強したり、勉強の悩みやオススメの参考書を語り合ったりして精

神面でもとても支えられました。

また、東高には生徒に寄り添ってくださる先生がたくさんいらっしゃいます。礼儀や感謝など、人として大切なことを教えてくださる先生や進路を一緒に考えてくださる先生、個別指導で自分の力を大きく伸ばしてくださる先生、話していて楽しい先生など、私は先生との出会いにも恵まれました。

みなさんも彦根東高校で素晴らしい人たちに囲まれて充実した三年間を過ごしてみませんか。



相田 真帆 さん
(令和7年3月卒業)
バレーボール部
大阪大学外国語学部

彦根東高校では、自分の夢や目標に向かって全力で努力する高い志を持った仲間と出会うことができます。私にとって、所属してい

たバレーボール部の同級生がそんな仲間でした。部員が少なく、他校と合同チームを編成するなど厳しい時期もありましたが、「最後までやり遂げよう」と励み合い、先生方の応援を受けながら練習を重ねました。勉強との両立は決して簡単ではありませんでしたが、限られた時間の中で勉強も部活も手を抜かず真剣に取り組む仲間の姿に刺激を受け、私自身も頑張ることができました。そして、こうした努力が実を結び「県大会ベスト8」という目標を三大会連続で達成できた時の喜

びは、高校生活で欠かすことのできない思い出です。部活も行事も勉強も、全力で楽しみ、努力する。そんな仲間と環境が彦根東高校にはあります。周りを見渡せば、個性豊かな仲間がそれぞれの分野で自分らしく輝いており、互いに刺激し合いながら高め合える日々がありました。私にとって、そんな環境の中で大きく成長し、全力で駆け抜けた3年間はかけがえのない宝物です。これから高校生活のスタートを切られる皆さんも彦根東高校で充実した学校生活を送ってみませんか。



サッカー部 人工芝のグラウンドを使った練習



陸上部 平和堂HATOスタジアムでの練習



ELCディベート大会での様子



吹奏楽部 多目的ホールでの合奏



ハンドボール部 試合前の円陣



囲碁部 第46回全国総文祭



箏曲部



ボート部 彦根城を望むお堀から全国へ



弓道部 国スポ会場を使った練習風景



花田 勝彦 さん

陸上部

経歴 彦根東高校 - 早稲田大学 - エスピー食品株式会社 - 上武大学ビジネス情報学部准教授/駅伝部監督 - GMOインターネットグループ監督 - 早稲田大学競走部駅伝監督(現職)

競技歴 アトランタ五輪 陸上競技 10000m日本代表
シドニー五輪 陸上競技 5000m・10000m日本代表
アテネ世界陸上 マラソン日本代表

彦根東高校での3年間は、その後の私の人生に大きな影響を与えました。中学校時代の私は、陸上競技では県大会でも入賞できないレベルの選手だったので、文武両道で取り組める環境がよいと考えて彦根東高校に進学しました。同じような志を持った先輩や同級生に囲まれ、勉強も部活動も創意工夫して取り組んだ日々が今では懐かしいです。特に部活動は、専門的指導のできる顧問の先生がおらず、部員同士でアイデアを出し合って練習に励んでいました。上級生になり長距離ブロック長となつてからは、専門書や雑誌を調べたり、強豪校の先生に練習方法を聞きに行ったりもしました。ソクラテスの言葉で

『無知の知』というものがありますが、私の高校生活にはその言葉が当てはまりそうです。『わからない』『できない』自分に気づいたことで、『知りたい』『できるようになりたい』という探究心や向上心を持って行動する習慣が身につきました。またその習慣のおかげで、その後の競技生活でのスランプも乗り越えることができました。

若い皆さんには大きな可能性とたくさんの選択肢があります。高い志と自主自律、創造性を重んじる彦根東高校の素晴らしい環境の中で、それぞれが進む道を見つけられることを願っています。



田島 茂代 さん

野球部マネージャー

経歴 彦根東高校 - 東京藝術大学・大学院 - ミュンヘン音楽大学
ブイフィッツアー歌曲コンクール第2位 ARDミュンヘン国際コンクールファイナリスト(女声第4位)
J.S.G国際歌曲コンクール第3位受賞
滋賀県文化奨励賞受賞
びわ湖ホール声楽アンサンブルソロ登録メンバー
愛知県立芸術大学 非常勤講師

高校では自分の人生の目標を定め、その目標を実現するという「夢」に向かって、これまでよりもさらに力強く歩み始める時期だと思っています。そこでは自分を見つめ可能性を見出す自己への問いかけが必要となります。まさに私も高校2年で自分の進むべき道を決心しました。苦しみながら出した決断ではありましたが、今日までぶれずに自分の道を歩んで来られたのもその当時の先生方の温かい応援があったからこそ感謝しています。

彦根東高校では「文武両道」をモットーに「高い志を持ち(挑戦)、知的好奇心に富み(発見)、決断し勇気をもって行動できる(実践)」という目標を

持って日々勉強や部活に切磋琢磨しています。私が所属していた野球部も甲子園に何度も出場し、後輩達の頑張りや胸を打たれました。

東京、ドイツへと私は学びや活動の場を広げて故郷から離れたましたが、この彦根東高校で学べたことは誇りです。そして、ここで出会った友人や先輩後輩の皆さんは国内外でそれぞれの道で活躍をされており、彼らからももらえる刺激や友好関係は人生の宝物といえます。これから高校生となられる皆さんが、高校の3年間、大いに悩み、苦しみ、歓喜し、笑いながら充実した日々を送り、その後の人生の礎をしっかり築くことができるよう心から願っています。

Global Science for Innovation

4期18年のSSH（スーパーサイエンスハイスクール）および3年のWWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業のカリキュラム開発指定校の経験に基づき、文理の枠を越え総合的な学力や国際性を兼ね揃えたグローバルリーダーの育成を目的としています。令和6年度からは高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）指定校に認定され、ICTを活用した文理横断的な探究的学びをより一層推進しています。また、海外の連携校と“Trans Asia-Pacific Network (TAP)”を組織し、相互訪問・共同課題研究なども行っています。



2023 彦根東サイエンス国際フォーラム

STEAM教育の充実とイノベーション力の育成

イノベーション力の育成などを目的とし、東京大学生産技術研究所内にある「（一般社団法人）学びのイノベーション・プラットフォーム（PLIJ）」と連携をし、STEAM教育を推進しています。

※科学・技術・工学・アート・数学の5つの領域を融合した教育を「STEAM教育」と呼びます。

国際性の育成

オーストラリア、インド、インドネシア、中国、アメリカの連携校（6校）と連携し、定常的な交流を通して国際性と実践的な英語力を育成しています。

●オーストラリア連携校研修

連携校 Ashdale Secondary College や Perth Modern School での現地学生との交流をはじめとし、INPEX株式会社パース支店など世界で活躍するグローバル企業への訪問も行いました。



オーストラリア連携校研修

●サイエンス国際フォーラム（サイエンスフェスティバル）

TAPの連携校が参加し、課題研究の発表を始めとした交流を行います。2023年度には実際にインドとインドネシアの学校を招き、オンラインを併用したハイブリッド開催をしました。対面参加の生徒達とは、書道や融合授業等の授業と一緒に、部活動体験や、彦根城散策等の活動を通して親交を深めました。2026年3月にも本校にてサイエンスフェスティバル（兼高校生国際会議）を開催予定です。



ZOOM画面



連携校生徒との交流 日本文化体験



オーストラリア連携校研修

教科融合授業

様々なテーマに関して、複数の教科を融合した授業を行い、俯瞰的・多角的に物事を捉え、社会的課題などを解決する力を培います。

※これまでに、「感染症」「プラスチック問題」「時間の流れ」「フェイクニュース」「近代化と進歩」「半導体」「消費行動」をテーマにした教材を開発し、授業を行っています。



ICTを活用した発表準備



意見集約の様子

グローバル・サイエンス (GS) コース

社会的な課題を解決する力の素地と共に、国際社会のリーダーとしてふさわしい能力や態度を、探究活動や様々な研修を通じて育成します。

国際性や語学力をベースに、自然科学・人文科学・社会科学の各領域を総合的に学ぶとともに、専門分野の領域を深く掘り下げます。

●課題研究

1年生はSDGsなどに関わるテーマ、2年生は自然科学や社会科学などを対象に、実験・観察及びフィールドワークを通してグループで研究活動を行います。研究成果は多くの発表会や学会で発表し、高く評価されています。

●Major Minor制 (メジャー・マイナー・リサーチ)

専門性を深めたい2分野を定め、深い学びに繋がる探究活動を実施します。

(例) 物理工学と日本文学、無機化学と民俗学

●各種講義・講演

大学などから研究者を招いての「先端科学研修」、JICAなど世界で活躍している本校OBなどによる「グローバル・セミナー」、新たな技術や商品開発を行っている大学や企業の技術者による「イノベーション力講座」などを実施しています。

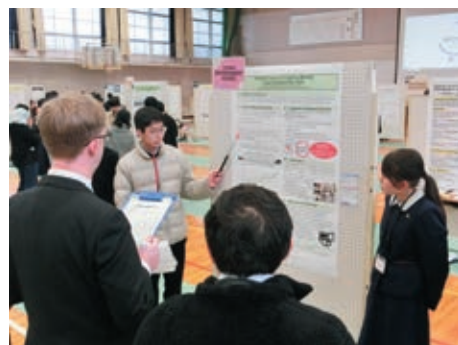
●各種研修

琵琶湖博物館実習、京都大学エネルギー理工学研究所・防災研究所、大阪大学産業技術研究所を始め、1泊2日で大阪・神戸の研究機関や大学を訪問する「関西研修」により、先端技術・研究に関する知識と理解を体験的に深めます。

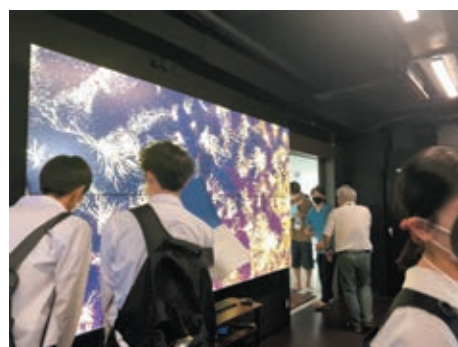
その他、外国人講師による授業・HR、プレゼンテーション講座など、GSコースだけの特別プログラムも数多く予定されています。



京大研修



彦根東サイエンスフェスティバル



バイオイメーjing学会参加(大阪大学)



馬淵 梧生 さん
(令和4年3月卒業)
東京大学理科一類

僕はバスケ部と囲碁部の兼部を考えていたため、最初SSコース(現GSコース)を選択するか迷っていました。東高の先生に相談し大丈夫だと聞き、兼部をしつつSSに入るという決断をしました。結果、どれも最後までやり抜くことができ、とても楽しく過ごせたのでSSに入って本当に良かったです。

特に2年生からの課題研究では、一般的に大学生や社会人から経験するかもしれない研究活動を一足早くできたことが大きかったです。実験の計画・実験道具の準備・実験・結果の記録・考察・発表という研究に

関わる一連の手順、また、実験ノートへの記録・パワーポイント制作といった研究に必要な基礎的なスキルを学びました。自分達の原稿を自分達で英訳し発表する機会もありました。難しそうだと考える方もいるかもしれませんが、先生方から指導を受けつつグループで行っていくので心配はありません。

また、SSでは先輩方や外部の方の研究を知る機会や企業研修の機会が多く、興味深い話を聞くことができました。東高の研修は国内だけでなく国外へのももあり参加は自由ですが、参加者の意欲は高かったです。僕たちの学年はコロナの関係で海外研修は実施されませんでしたが、皆さんにはぜひその機会を活用してほしいです。

GSコースでもクラスメイトと様々な経験をして、きっと充実した高校生活を過ごすことができるでしょう。



藤田 優冴 さん
(令和7年3月卒業)
京都大学工学部

彦根東高校に入学して本当に良かったと心から思っています。

僕はGSコースだったこともあり、東京、九州、シンガポールなど様々な場所に研修に行き、貴重な体験をしました。ただただ楽しかったです。これは東高に入ったからこそできたことです。

東鬼祭もとても印象に残っています。東鬼祭前の2週間くらいは授業が短縮されたりなくなったりして、東鬼祭の準備をします。僕は自分から積極的に仕事をしない人間ですが、周りの友達が仕事を振ってくれま

した。思いやりが強い人がたくさんいるというのも東高の魅力の一つです。当日はもちろん、準備期間も全員が大いに盛り上がります。

日々の授業もとても楽しいです。ただ教科書にそって授業をするのではなく、生徒に考えさせたり、興味深い話を挟んだり、公式暗記ではなく理屈から説明されたり(実際にこれが受験でも役に立った)する先生方が多いです。あと、生徒も熱心楽しく授業を受けるので、僕は授業の雰囲気がとても好きでした。授業後もクラスの友達と授業の内容で盛り上がることも多々ありました。

皆さん是非彦根東高校に入学して充実した高校生活を送ってください。最後に靴を脱ぐ必要がないのも楽です。



東大研修

令和7年度 学校説明会のご案内

1st

8/7(木) AM・PM

8/8(金) AM

内容

- ・学校概要説明
- ・授業体験
- ・部活動、施設見学 など

2nd

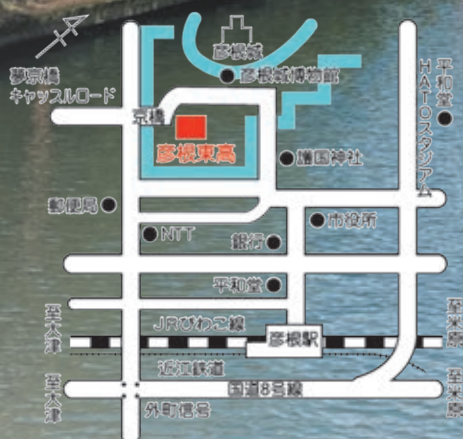
11/8(土) AM

彦根駅までのアクセス



JR主要駅からの所要時間		近江鉄道主要駅からの所要時間	
大津	38分	水口	80分
草津	27分	京セラ前	47分
守山	23分	八日市	34分
近江八幡	14分	高宮	8分
能登川	8分	米原	11分
米原	5分		
長浜	25分		
高月	33分		
貴生川	56分		
近江今津	53分		

彦根駅からのアクセス



滋賀県立彦根東高等学校

〒522-0061 滋賀県彦根市金亀町4番7号
 TEL 0749-22-4800 FAX 0749-26-3879
 最新情報はホームページで！
<http://www.hikonehg-h.shiga-ec.ed.jp/>

